



「こども文化センター」は、市民活動の地域拠点

小中学生だけでなく乳幼児から高齢者まで、多世代が交流する施設「こども文化センター」。子どもたちの利用が少ない午前中から放課後と夜間の時間帯は、児童福祉関係者や地域のみなさんの活動拠点としても利用されています。団体登録して各室や印刷機などの設備が利用できます(予約制の場合あり)。各区のこども文化センターの運営について詳しくは、財団ホームページ(QR)をご確認ください。地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかな成長を見守ります。



三田こども文化センター(多摩区)



※こぶんは、当財団が管理運営するこども文化センター53施設のキャラクターです。
※わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ102施設のキャラクターです。

2021年
初夏号(通巻No.296)

ナンバーゼロ



目次

- P2 助成金活用 (一社)カノパートナーズ
- P3 川崎の企業市民活動
- P4 お知らせ

パワーアップセミナー

第3回パワーアップセミナー(2回連続講座)

7/10・7/24 13:30~16:30

団体の発信力UPのためのプレスリリースをつくる。

相手に届く文章と写真の魅せ方(全2回)

講師に北原まどかさん(NPO法人森ノオト理事長/未来をはぐくむ人の生活マガジン「森ノオト」編集長)を迎え、ネット時代の広報と媒体を問わない情報発信の向上および魅せる写真の選び方や構図について2回連続で行います。

受講料:2,000円
会場対面式・定員:15名

(お申込みなど詳しくは、6月上~中旬頃から、チラシまたはかわさき市民活動センターHPにて。)



※新型コロナウイルスの影響により、掲載している各講座は変更になることがあります。

川崎市からの お知らせ NPO法人実務 基礎固め講座を開催します

総会開催や各種届出などNPO法人に必要な事務について、実践的に学べる講座です。

日時・場所 令和3年7月20日(火) 午後6時~午後8時30分
中原区役所 502会議室

対象 事務所を川崎市内にのみ置くNPO法人で、運営実務に携わる職員、スタッフ

定員 30名 ※先着順、予約制(1法人あたり2名まで)

申込方法 電話、FAX、川崎市ホームページのメールフォーム、または窓口で直接

※FAXの場合は、①お名前②法人名③参加人数④電話番号を必ずご記入ください。

※配慮が必要な方は7月6日(火)までにお申し込みの上、別途ご連絡をお願いします。

申込み・問い合わせ:川崎市 市民文化局 市民活動推進課
電話:044-200-2341 FAX:044-200-3800

川崎市HP

2020年度 集めて支援・募金御礼

〈集めて支援〉

未使用切手の寄付	6,723円
書き損じハガキを切手に交換	16,924円
使用済み切手・カードを販売	7,000円
本・CD・DVDなど(ブックオフオンライン)	3,442円
計	34,089円

〈募金箱・寄付〉

川崎信用金庫	35,041円
フィッシング中原	1,237円
受付窓口	4,413円
その他寄付	41,416円
計	82,107円
合計	116,196円



ご支援、ご協力ありがとうございました。

■ご案内 MAP



特集 | ブレない目標達成へ 助成金の有効活用を考える

4月11日に行われた

「2020年度かわさき市民公益活動

助成金 公開事業報告会」。

56団体を8グループに分け、

入替制で、1団体6分以内に

報告発表、コロナ対策を講じながら

の開催となりました。



- 当日の報告の様子は YouTube でご覧いただけます。
- <https://www.youtube.com/>より、かわさき市民活動センター市民活動推進課で検索



ナンバーゼロ 2021年初夏号(通巻No.296)

【編集・発行】

公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12

電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577

メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

WEB:<http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/>



Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

「ブレない目標達成へ。」助成活用!

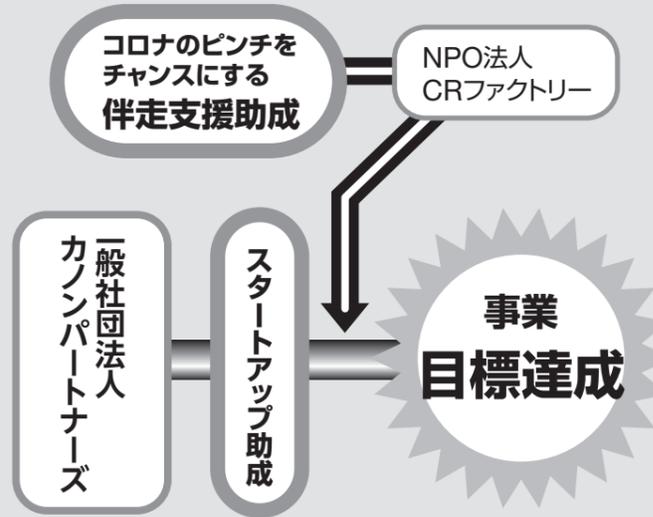
コロナ、オンライン、新しい生活様式…
要因を回避、時には利用しながら活動を継続するために

一般社団法人 カノンパートナーズ

高齢者を対象に健康維持のための体操教室を開催。健康寿命の延伸を目指している。「スタートアップ」助成金交付中に、「コロナのピンチをチャンスにする伴走支援助成」*によってNPO法人CRファクトリーからインターネット活用の支援を受けた。



コロナ禍でダメージを受けるかと思いきや、ステイホームによる運動不足を改善するニーズを受けて右肩上がりに活動を継続、利用者の口コミで会場参加者が増。伴走支援を受けてオンライン同時開催を準備しながら、肝心の高齢ユーザーのIT慣れと習熟を促した。



2020年度の助成金交付団体の多くが、昨年4月以降のコロナ対応で、IT、インターネット活用の方法を模索し続けた1年間。インターネット特有の壁や課題、チャレンジ、努力や工夫など、生活様式の大きな変化への対応が垣間見えた報告会となりました。そのなかで、参加型リモート体操教室を実現させた(一社)カノンパートナーズ 代表・今川貞治さん にお話を伺いました。

— 参加者の信頼と繋がりを維持するため、電話で細やかな連絡を行われたとか。参加の魅力は、団体の持つ「お人柄」も大きいと思います。さて、色々なことが出来るが故に、インターネット活用によって活動が本来の目的から遠ざかり、ブレが生じる場合もありますが、「健幸体操への参加促進」という目的から逸脱しないインターネットの取り入れ方はシンプルで分かりやすいですね。伴走支援のCRファクトリーからは、どんなサポートを受けたのでしょうか。

(今川) 私たちの教室は、参加者同士のコミュニケーションを大切に、日常生活の行為や活動を高めることにアプローチしています。楽しく笑って行う参加型の教室を実現するために、CRファクトリーからアドバイスを受け、一方向のYouTubeではなく、双方向のZoomで進めました。体操教室をインターネットを介して観察してもらい、参加者目線でサポートしてもらった結果、より対面に近いリモート教室が完成しました。

*「コロナのピンチをチャンスにする伴走支援助成」:2020年度の助成金交付事業を実施するにあたり、3密回避への取組が自力では困難な団体への伴走支援。
**フレイル:健康の揺らぎや未病の状態

— 会場参加とZoom参加という選択肢を用意しているのですね。Zoom参加者への対応で、難しい点はありましたか?

(今川) リモート体操教室ではPC・スマートフォン等のIT機器操作が必要。それはシニア世代には高いハードルでした。CRファクトリーから意見を伺いながら、①参加者のIT利用実態アンケート ②簡易マニュアル作成 ③テスト配信などを実施。①②③を繰り返して問題を解決しながら、改良を重ねました。また、配信クオリティ向上のための、声のトーンやカメラ位置など、細部にわたる支援があり、助かりました。

— 過酷な年でしたが、2020年度があったからこそ次のステージへ進めると考える活動内容や解決したい課題はありますか。

(今川) 私たちは「もっともっと介護予防を地域に広げたい」という想いで、「楽しんで交流できる場と生活動作を改善する運動」を提供しています。コロナ下での外出自粛が高齢者の身体機能や認知機能に影響を及ぼしています。収束したとしても、こうした機能が低下した「フレイル」**の深刻化が危惧されます。そんな時代に、ふらっと立ち寄れる「音楽や歌とコラボした体操教室」や「楽しんで交流できる場」など、リモート開催も含め参加型のイベントをつくりたいですね。

— お忙しいところ、ありがとうございました。

My 3rd Place

「ブースによろこそ!」

家庭・仕事に次ぐコミュニティは第三の居場所「サードプレイス」として関心が高まっています。多様な仲間とクリエイティブに交流できることが理想的。スポーツ・趣味・地域の集いはもちろん、SNSや市民活動も人生の第三の場。ただSNSと違って、実際の行動が伴う活動では、

オフィスの拠点が必要なものです。活動センター内に設置のブースは5基。団体のメンバーが事務などを行うことを想定して用意しました。4月からブースの利用を始めた2団体。みなさんのサードプレイスをより活発に運営してください。

一般社団法人 日本保育者未来通信 代表 清水 友康(しみず・ともやす)さん

保育所での障がい児または気になる子に対する巡回相談等、福祉サービス第三者評価、各種研修を通して、インクルーシブな社会の実現に寄与します。

インクルーシブ保育の実現に向けた研修を実施します。

会議室を使って研修を開催することができ、しかも武蔵小杉駅前という良アクセスが活動に好条件!

街と海との「つながり」を感じられる活動で、海の未来を考えるきっかけを多くの人に提供します。

川崎で、様々な活動団体とつながりを持ちたい!

イルカ・クジラと海の素晴らしさや大切さを伝えるため、ワークショップやビーチクリーン、トークイベントやフリーペーパー発行などの活動を行います。

アイサーチ・ジャパン 代表 相良 菜央(さがら・なお)さん

※1基5㎡、低料金で最長5年利用。東急武蔵小杉駅前、フリースペース・会議室・印刷室・Free Wi-fiなど充実の設備で各団体を応援! 現在満室ですが、興味がある方はセンターへ問い合わせを。

連載コラム「川崎の企業市民活動」

Corporate Social Responsibility in KAWASAKI
企業×社会貢献活動

コラム担当:福森



第1回 「NEC玉川プロボノ倶楽部」

日本電気株式会社(NEC)では、社員による社会貢献活動を目的としてNEC玉川プロボノ倶楽部というボランティア団体を立ち上げました。同倶楽部は、社員一人ひとりのプロフェッショナルスキルを活かし、市民活動団体などへの支援を通じて地域課題の解決を目指しています。コロナ禍の2020年からは、事業場のある川崎市との連携を始め、市内での活動が本格的にスタートしました。

昨年度は、社会福祉施設や市民活動団体への支援を行ったほか、当センターの研修や交流事業などの実施に際し、オンライン化に係る技術提供や人材の派遣などをしていただきました。

去る5月12日には、当センターの事業に対する昨年度の貢献に対して、理事長から感謝状の授与を行いました。

玉川プロボノ倶楽部では、2021年度も川崎市市内でのさまざまな活動を、当センターなどと協働して行う予定です。



NEC玉川プロボノ倶楽部
丹下 勉(たんげ・つとむ)さん